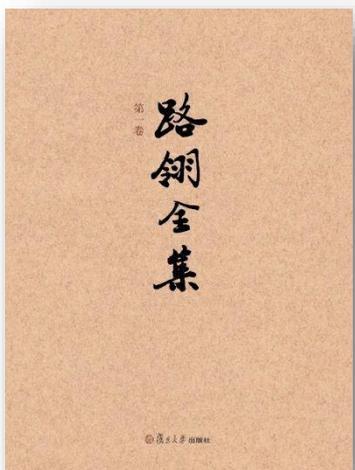


一橋大学言語社会研究科国際交流セミナー

張業松(復旦大学中文系教授)

# 晩年路翎的奮闘與憂傷



7月23日(土)

15:00-17:00 ※通訳あり

一橋大学東キャンパス国際研究館3階会議室

中国近代を代表する文芸批評家・胡風に見出された路翎(1923-1994)は、中国近代文学史上最も傑出したリアリズム作家でした。建国後は「胡風反革命グループ」の主要人物として投獄され、辛酸の限りを嘗め尽くしました。この天才作家の全貌を窺うべく《路翎全集》が完成、出版されることになりました。全集の編纂に当たった張業松復旦大学教授に、晩年の路翎についてお話しいただきます。

お問い合わせ 鈴木将久(言語社会研究科教授) [suzukilmjj@gmail.com](mailto:suzukilmjj@gmail.com)